

平成28年度 あきたスマートカレッジ (報告)

Aあきたふるさと講座

A7～12：秋田市探訪vol.5

～泉・手形・広面編～

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂ほか
A11・12は東部市民サービスセンターに現地集合

【趣旨】5回目を迎える秋田市探訪は、泉・手形・広面地区を中心に行います。泉には天徳寺をはじめ近世の文化財が、手形・広面には太平山三吉神社をはじめ佐竹氏に関する寺社が多く点在しています。それらを講義によって紐解き、移動学習によって現地で触れます。2015年8月にオープンした東部市民サービスセンター(SC)「いーぱる」でも講座を行います。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
A7	5月21日 (土)	城下周辺の村むらの変遷 ～泉村・手形村を中心に～	秋田県文化財保護協会 理事 池田憲和氏	57
A8		【移動学習】泉編(バス/徒歩) ～天徳寺・熊野神社・泉福院～	秋田市観光案内人のみなさん	35
A9	6月18日 (土)	“地下なる鉱脈 無限の宝庫”の真相 ～見直される秋田の地下資源～	秋田大学国際資源学部 教授 渡辺 寧氏	49
A10		【移動学習】秋田大学編(バス/徒歩) ～鉱業博物館・白馬寺・平田篤胤墓～	鉱業博物館サイエンスボランティア 学生団体ATMU!のみなさん	34
A11	7月16日 (土)	太平山信仰と三吉神社 ～二つの信仰から～	ノースアジア大学 経済学部 教授(雪国民俗館長) 鎌田幸男氏	52
A12		【移動学習】手形・広面編(徒歩) ～太平山三吉神社・本念寺・闍信寺～	秋田市観光案内人のみなさん	30
合計				257名

秋田市探訪はこれまで、平成24年度に土崎編、平成25年度に新屋編、平成26年度に河辺・雄和編、平成27年度には山王・八橋・寺内・川尻編を開講してきました。今年度は、天徳寺など近世の文化財が多い泉地区、地域の発展に貢献してきた秋田大学周辺、太平山三吉神社をはじめ佐竹氏に関する寺社が点在する手形・広面地区を取り上げ、3日間(計6回)の日程で講座を行いました。

ここでは、6月18日に行われた移動学習(4回目の講座)について報告します。

6月18日(土)に行われた秋田大学周辺を巡る移動学習では、現役の大学生に案内をお願いしました。学生団体ATMU!(アトム)のみなさんは、本講座で配付している「ぐるっと文化財マップ」の作成に関わった方々で、自分たちで地域の歴史について調べながら、白馬寺や平田篤胤の墓を案内してくれました。また、この日は秋田大学構内も歩くことができ、図書館や学生食堂など地域住民も利用できる場所を教えてくださいました。すれ違う学生に話しかけ、異世代交流を図っている受講者もありました。





秋田市探訪の最終日となった7月16日(土)の講座は、昨年度オープンしたばかりの秋田市東部市民サービスセンター(いーぱる)で行いました。午前中は、ノースアジア大学経済学部教授の鎌田幸男先生が「太平山信仰と三吉神社」というテーマで講義を行いました。先生は、北海道・利尻島などでの調査結果から、太平山信仰が東北から北海道の広域にわたるものであることを説明されました。秋田県から出稼ぎのために北海道に渡り、ニシン漁などで生計を立てていた漁師らが、

先に神社や石碑を建立してふるさとの信仰を守ろうとしていたようです。その他、県内の様々な風俗・習俗にもふれられ、民俗学の奥深さと醍醐味を味わうことができました。午後は、秋田市観光案内人の方々に移動学習の案内をお願いしました。有名な寺社ばかりではなく、普段何気なく通り過ぎてしまうような道路脇の庚申塚などの石碑も丁寧に説明してくれました。受講者からは「地域のことを何も知らずに生活していると感じた」「来年度もこういった講座を企画してほしい」などの声が寄せられました。